



## 2025年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年1月10日

上場会社名 株式会社ジンスホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 3046 URL https://jinsholdings.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 田中 仁  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員CFO (氏名) 中谷 元明 (TEL) 03-6890-4800  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年8月期第1四半期の連結業績(2024年9月1日~2024年11月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期第1四半期	21,056	15.9	2,003	83.8	2,002	89.5	1,317	127.3
2024年8月期第1四半期	18,166	6.5	1,089	39.7	1,056	58.8	579	54.0

(注) 包括利益 2025年8月期第1四半期 1,065百万円(109.4%) 2024年8月期第1四半期 509百万円(29.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年8月期第1四半期	56.44	53.85
2024年8月期第1四半期	24.83	23.66

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年8月期第1四半期	52,534	25,694	48.9
2024年8月期	54,045	25,593	47.4

(参考) 自己資本 2025年8月期第1四半期 25,694百万円 2024年8月期 25,593百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年8月期	—	20.00	—	41.00	61.00
2025年8月期	—	—	—	—	—
2025年8月期(予想)	—	23.00	—	44.00	67.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年8月期の連結業績予想(2024年9月1日~2025年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	42,400	11.5	2,860	11.6	2,770	6.6	1,810	16.3	77.55
通期	90,100	8.6	8,500	8.5	8,310	7.4	5,230	11.9	224.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年8月期1Q	23,980,000株	2024年8月期	23,980,000株
② 期末自己株式数	2025年8月期1Q	639,183株	2024年8月期	640,064株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年8月期1Q	23,340,523株	2024年8月期1Q	23,340,113株

注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定にあたり控除する自己株式数には、「株式給付信託（J-ESOP）」の信託財産として株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が保有する当社株式を含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
(重要な後発事象)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2024年9月1日～2024年11月30日)における国内経済は、個人消費やインバウンド需要は回復傾向にあり、世界的な政治情勢の変動による資源価格の高騰による物価上昇や、為替、金利を始めとした金融資本市場の変動等の経済への影響には十分注意が必要ではあるものの、景気の緩やかな回復がみられました。世界経済においては、前述の通り、物価上昇や金融資本市場の変動等による景気への影響が継続する中、特に中国では不動産市場の低迷や若年層の失業率上昇等による成長率の鈍化が見受けられ、更なる景気の下振れリスクの高まりが懸念されております。

国内眼鏡小売市場(視力矯正眼鏡)は、新型コロナウイルス感染症の影響が収束し、発生以前の水準へ回復の傾向が見受けられました。

このような市場環境の中で、当社グループのアイウェア事業では、経営課題として掲げているイノベーティブなプロダクト開発の強化及び店舗展開の推進などの取り組みを進めておりました。商品開発につきましては、お客様の利用シーンに応じた商品の開発に取り組み、自宅での使用を提案した「JINS HOME」等の新たな商品価値を提供するとともに、引き続き「近視のない世界の実現」に向けた取り組みの一環として、バイオレットライトを用いた近視進行抑制メガネ型医療機器開発の共同プロジェクトを進めておりました。店舗戦略につきましては、市場環境に応じてお客様の利便性の高い立地への出店を推進しており、国内においては、小型のショッピングモールや駅ビルなどを中心に出店を進めました。また、海外においては、未出店の地域等への出店を進める一方で、地域によっては不採算店舗の閉鎖やドミナント展開を進める等、グローバル各国、地域の市場環境や競合に合わせて出店を進めました。

店舗展開につきましては、当第1四半期連結会計期間末における店舗数は、国内508店舗、海外244店舗(中国164店舗、台湾67店舗、香港9店舗、米国4店舗)の合計752店舗となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は、国内及び海外の新規出店の効果もあり21,056百万円(前年同期比15.9%増)となりました。営業利益は2,003百万円(前年同期比83.8%増)、経常利益は2,002百万円(前年同期比89.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,317百万円(前年同期比127.3%増)となり、増収増益となりました。

セグメント業績の概要は、次のとおりであります。

セグメント別の売上高

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)	構成比	前年同期比増減
国内アイウェア事業	16,048百万円	76.2%	19.0%
海外アイウェア事業	5,007百万円	23.8%	7.0%
合計	21,056百万円	100.0%	15.9%

〈国内アイウェア事業〉

国内アイウェア事業につきましては、リニューアルした「Airframe」等のメガネフレームが好評を博した他、「JINS極薄レンズ」等の高単価のオプションレンズや、紫外線対策への意識の高まりから、可視光調光レンズやUVカットレンズ等の商品が一式単価を牽引しました。また、JINSアプリの会員数は2024年11月末現在で約1,564万人となりました。

店舗展開につきましては、国内店舗数は508店舗（出店13店舗、退店なし）となりました。

以上の結果、国内アイウェア事業の業績は、売上高16,048百万円（前年同期比19.0%増）、営業利益1,694百万円（前年同期比97.6%増）となりました。

〈海外アイウェア事業〉

海外アイウェア事業につきましては、中国においては、景気の低迷による業績への影響を受ける中で、事業再編に取り組み、業績は回復傾向にあります。

台湾においては、引き続きオプションとして取り揃えている日本製レンズが好評を博していること等により業績は順調に推移しました。

香港においては、景気の低迷や為替の影響による中国や日本へのアウトバウンドの増加等があり、業績は想定よりも下回りました。

米国においては、引き続き既存店の売上高は順調に推移しました。

店舗展開につきましては、中国164店舗（出店4店舗、退店7店舗）、台湾67店舗（出店6店舗、退店なし）、香港9店舗（出店、退店なし）、米国4店舗（出店、退店なし）の合計244店舗となりました。

以上の結果、海外アイウェア事業の業績は、売上高5,007百万円（前年同期比7.0%増）、営業利益308百万円（前年同期比33.1%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	2024年8月期末 (2024年8月31日)	当第1四半期連結 会計期間末 (2024年11月30日)	増減	増減率(%)
総資産	54,045	52,534	△1,511	△2.8
負債	28,451	26,839	△1,612	△5.7
純資産	25,593	25,694	100	0.4

## (イ)資産

流動資産は、28,930百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,323百万円減少いたしました。

これは主に、商品及び製品が758百万円増加したものの、売掛金が776百万円、現金及び預金が3,292百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、23,603百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,811百万円増加いたしました。

これは主に、新規出店等に伴い、敷金が829百万円、建物及び構築物等の有形固定資産が373百万円それぞれ増加したことによるものであります。

以上により、総資産は、52,534百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,511百万円減少いたしました。

## (ロ)負債

流動負債は、23,781百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,881百万円減少いたしました。

これは主に、買掛金が333百万円増加したものの、納税により未払法人税等が1,370百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、3,057百万円となり、前連結会計年度末に比べ269百万円増加いたしました。

これは主に、長期未払金が365百万円増加したことによるものであります。

以上により、負債合計は、26,839百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,612百万円減少いたしました。

## (ハ)純資産

純資産合計は、25,694百万円となり、前連結会計年度末に比べ100百万円増加いたしました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益1,317百万円を計上したものの、配当金の支払いにより969百万円減少したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、2024年10月11日に発表いたしました業績予想から変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,673	15,381
売掛金	6,572	5,796
商品及び製品	4,639	5,398
仕掛品	43	14
原材料及び貯蔵品	424	406
その他	1,900	1,934
流動資産合計	32,254	28,930
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,461	9,775
その他(純額)	1,672	1,731
有形固定資産合計	11,133	11,506
無形固定資産		
投資その他の資産	2,538	2,832
投資その他の資産		
敷金及び保証金	4,392	5,222
その他	3,726	4,042
投資その他の資産合計	8,119	9,264
固定資産合計	21,791	23,603
資産合計	54,045	52,534

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,747	3,081
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	10,005	10,002
短期借入金	1,909	1,650
1年内返済予定の長期借入金	20	13
未払金及び未払費用	6,211	5,998
未払法人税等	2,051	681
賞与引当金	429	470
商品保証引当金	250	231
事業構造改革費用引当金	66	53
その他	1,971	1,598
流動負債合計	25,663	23,781
固定負債		
長期借入金	24	22
株式給付引当金	70	62
資産除去債務	1,166	1,217
その他	1,525	1,754
固定負債合計	2,787	3,057
負債合計	28,451	26,839
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,202	3,202
資本剰余金	3,201	3,201
利益剰余金	22,818	23,166
自己株式	△4,041	△4,037
株主資本合計	25,180	25,532
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	77	76
為替換算調整勘定	335	85
その他の包括利益累計額合計	413	161
純資産合計	25,593	25,694
負債純資産合計	54,045	52,534



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)
売上高	18,166	21,056
売上原価	3,819	4,449
売上総利益	14,347	16,606
販売費及び一般管理費	13,257	14,603
営業利益	1,089	2,003
営業外収益		
受取利息	4	3
為替差益	5	21
補助金収入	0	1
その他	16	12
営業外収益合計	25	38
営業外費用		
支払利息	33	35
持分法による投資損失	18	—
その他	6	3
営業外費用合計	58	38
経常利益	1,056	2,002
特別損失		
固定資産除却損	35	57
店舗閉鎖損失	3	1
その他	—	0
特別損失合計	39	58
税金等調整前四半期純利益	1,017	1,944
法人税、住民税及び事業税	272	504
法人税等調整額	165	122
法人税等合計	437	627
四半期純利益	579	1,317
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	579	1,317

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)
四半期純利益	579	1,317
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21	△1
為替換算調整勘定	54	△250
持分法適用会社に対する持分相当額	△103	—
その他の包括利益合計	△70	△251
四半期包括利益	509	1,065
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	509	1,065
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前第1四半期連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前第1四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	国内 アイウェア 事業	海外 アイウェア 事業	計		
売上高					
顧客との契約から生 じる収益	13,485	4,680	18,166	—	18,166
外部顧客への売上高	13,485	4,680	18,166	—	18,166
セグメント間の内部 売上高又は振替高	182	2	185	△185	—
計	13,668	4,683	18,351	△185	18,166
セグメント利益	857	231	1,089	—	1,089

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	国内 アイウェア 事業	海外 アイウェア 事業	計		
売上高					
顧客との契約から生 じる収益	16,048	5,007	21,056	—	21,056
外部顧客への売上高	16,048	5,007	21,056	—	21,056
セグメント間の内部 売上高又は振替高	328	29	358	△358	—
計	16,377	5,037	21,414	△358	21,056
セグメント利益	1,694	308	2,003	—	2,003

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)
減価償却費	711百万円	688百万円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。